第 107 回 幹 事 会

平成 22 年 10 月 4 日

日 本 学 術 会 議

第107回幹事会議事次第

日時：平成22年10月4日（月）16:00

審議事項	
1 委員会関係	提案1 分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定 提案2 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会設置要綱の一部改正 提案3 労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会設置要綱の一部改正 提案4 若手アカデミー委員会若手アカデミー活動検討分科会の地方開催
2 提言等	提案5 提言「我が国の医学教育はいかにあるべきか」 提案6 提言「全員加盟の医師専門職能団体の必要性について」
3 国際会議関係	提案7 AASA及びFASAS合同会議への会員の派遣
4 シンポジウム等	提案8 公開シンポジウム「『韓国併合』100年と歴史教育」 提案9 公開シンポジウム「薬剤師の職能とキャリアパス」 提案10 初等中等教育における理科・数学・技術教育～現状、課題及びその解決に向けて～ 提案11 公開シンポジウム「私たちの日々 土に囲まれて」 提案12 公開シンポジウム「新薬学教育における学士力、博士力」 提案13 第60回理論応用力学講演会
5 イベント	提案14 第18回かがわけん科学体験フェスティバル
6 後援	提案15 国内会議
7 その他	
非公開審議事項	
1 委員会関係	提案16 労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会の委員（特任連携会員）の任期の延長
2 その他	
その他	

資料2

第107回幹事会（10月4日）出席者一覧

会長		金澤 一郎
副会長		大垣 眞一郎
副会長		鈴村 興太郎
副会長		唐木 英明
第一部	部長	広渡 清吾
第一部	副部長	小林 良彰
第一部	幹事	山本 眞鳥
第二部	部長	浅島 誠
第二部	幹事	山本 正幸
第二部	幹事	鷺谷 いづみ
第三部	部長	岩澤 康裕
第三部	副部長	後藤 俊夫
第三部	幹事	池田 駿介
第三部	幹事	永宮 正治

事務局長 竹林 義久

諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
2 審議付託等	1
第 2 各部・各委員会等報告	
1 部会の開催とその議題	2
2 機能別委員会の開催とその議題	2
3 分野別委員会の開催とその議題	3
4 課題別委員会の開催とその議題	7
5 サイエンスカフェの開催	8
6 総合科学技術会議報告	8
7 慶弔	8

第 1. 前回幹事会以降の経過報告

1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
9月16日(木)	総合科学技術会議有識者会合	金澤会長、竹林局長
9月21日(火)	表敬訪問 朱作言中国科学院院士他	金澤会長、唐木副会長、綱木次長
9月30日(木)	総合科学技術会議有識者会合	金澤会長、竹林局長
10月3日(日)	S T S フォーラム 2010 アカデミープレジデント会合(京都)	金澤会長、唐木副会長、綱木次長

2 審議付託等

件 名	申 請 者	審議付託先
日本学術会議協力学術研究団体の指定	日本ウーマンズヘルス学会他	科学者委員会
学術刊行物の審査	郵便事業株式会社	科学者委員会

第2. 各部・各委員会等報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第一部拡大役員会(第12回)(9月16日)

報告事項

- 1) 幹事会報告
- 2) 各常置委員会報告
- 3) 分野別委員会報告
- 4) 課題別委員会報告
- 5) 第1部国際協力分科会
- 6) 第1部大型研究計画検討推進分科会

協議事項

- 1) 大学教育の分野別質保証の在り方について
(資料「回答 大学教育分野別質保証の在り方について」)
 - 2) 「日本の展望」のフォローアップの活動について
 - 3) 学術会議の機能強化について(部及び分野別の活動について)
- その他

(2) 第三部拡大役員会(第26回)(9月17日)

- 学術の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン修正・追加のためのアンケート調査とマスタープラン改訂・補強について
理学・工学分野の科学・夢ロードマップについて
日本学術会議の機能強化について
大学・研究機関の研究教育予算および科学・技術予算について
高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会について
その他

2 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学者委員会学術統計検討分科会(第2回)(9月29日)

- 科学技術政策研究所の学術統計の調査事例と学術統計解析の考え方について
フラスカティマニュアルについて 今後の進め方について その他

(2) 科学者委員会学術誌検討分科会(第13回)(9月29日)

- 文科省、NII、JST等の協議についての報告
総会報告について 今後の具体的な方向性の検討について その他

(3) 科学と社会委員会(第12回)(10月4日)

- 活字文化プロジェクトとのシンポジウム開催について その他

3 分野別委員会の開催とその議題

第一部担当

- (1) **第一部大型計画検討推進分科会** (第 1 回)(9 月 1 6 日)
第一部大型計画の検討について
その他
- (2) **経済学委員会数量的経済・政策分析分科会** (第 4 回)(9 月 1 8 日)
平成 2 3 年度春季大会でのセッション開催の進捗状況
次回 (平成 2 4 年度) のテーマ候補
本年度の関西計量経済学会研究会での関連セッションの開催
今後の分科会活動 前回からの検討事項 その他
- (3) **言語・文学委員会古典文化と言語分科会** (第 8 回) **文化の邂逅と言語分科会**
(第 8 回) **科学と日本語分科会** (第 8 回) **合同分科会** (9 月 1 9 日)
各分科会からの報告
「分野別質保証」について 学術研究の大型プロジェクトについて
その他
- (4) **心理学・教育学委員会教育の質向上検討分科会** (第 6 回)(9 月 2 1 日)
各出席委員からの学校評価に対する話題提供と討論
報告書作成に関して その他
- (5) **法学委員会「グローバル化と法」分科会** (第 8 回)(9 月 2 3 日)
シンポジウムの開催予定について
今後の審議のあり方について その他
- (6) **地域研究委員会多文化共生分科会** (第 1 0 回)(9 月 2 3 日)
とよなか国際交流協会多文化共生教育の経験 (榎井縁氏の発表)
シンポジウム計画準備 その他
- (7) **法学委員会「不平等・格差社会とセーフティ・ネット」分科会** (第 6 回)
(9 月 2 4 日)
報告書 (案) の検討について その他
- (8) **地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 I H D P 分科会**
(第 5 回)(9 月 2 4 日)
地球惑星科学連合 2 0 1 1 年大会 I H D P 国際セッションについて
Global Sustainability Research 対応のアジア国際会議について
日本計画行政学会第 3 3 回全国大会ワークショップについて

日本地理学会2010年秋季学術大会シンポジウムについて
関連委員会・小委員会等の動向 今後の活動について
その他(次回日時等)

(9) 地球研究・地球惑星化学委員会合同地理教育分科会(第7回)及び学校地理教育小委員会(第5回)、地図/GIS教育小委員会(第4回)、環境・防災教育小委員会(第4回)、大学地理教育小委員会(第4回)(9月25日)

各小委員会からの報告(各省委員会7~8分程度)

地理教育シンポジウムの実行委員について

地理基礎と地理教育(21期活動総括の方向性) その他

(10) 地域研究委員会人文・経済地理と地域教育分科会(第7回)(9月25日)
地域再生の提言・報告について その他

(11) 政治学委員会国際政治分科会(第2回)(9月27日)

国際政治分科会の意義と活動:猪口孝

日本国際政治学会総会、部会「仲間作りの国際政治学」の打ち合わせ
(鈴木基史、羽場久美子)

その他

(12) 法学委員会「公の構造変化」分科会(第8回)(9月29日)

報告

1) 森村委員:「民法、特に家族の公的性質」

2) 辻村委員:「憲法と民法:家族をめぐる公私区分の変容」

次回以降の日程(橋本委員報告) その他

(13) 政治学委員会(第3回)(10月4日)

政治学委員会の活動について その他

(14) 心理学・教育学委員会(第5回)(10月4日)

分科会報告

最先端設備事業「心の先端研究のための連携拠点(WISH)構築」採択の報告

心の先端研究拠点形成の今後の進め方

その他

第二部担当

- (1) **健康・生活科学委員会生活科学分科会** (第 1 4 回)(9 月 1 8 日)
生活科学分科会
1) 公開講演会の事前打ち合わせ
その他
- (2) **臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同生活習慣病対策分科会** (第 7 回)
(9 月 1 8 日)
当日の共催シンポジウムの討議とりまとめ
前回開催市民公開シンポジウムの討議概要と特集論文発刊準備報告
「次世代へつなぐ健康的なライフスタイルの確立にむけて」
合同・共催シンポジウム開催準備状況の報告・討議
合同シンポジウム・公開講演会 新規企画提案の準備状況報告
1) 今中委員提案企画 日本衛生学会との共催シンポジウム
2) 横尾委員提案企画 日本学術会議後援の講演会
討議 その他
- (3) **歯学委員会基礎系歯学分科会** (第 3 回)(9 月 2 1 日)
日本学術会議シンポジウムについて 今後の活動について その他
- (4) **統合生物学委員会** (第 1 0 回)(9 月 2 3 日)
公開講演会の進行について 統合生物学委員会の今後の活動 その他
- (5) **臨床医学委員会障害者と共生分科会** (第 1 0 回)(9 月 2 9 日)
報告書の取りまとめ方について 小委員会報告 その他
- (6) **臨床医学委員会医師の専門職自律に関する分科会** (第 4 回)(9 月 2 9 日)
提言 (案) 「全員加盟の医師専門職能力団体の必要性について」の検討
その他
- (7) **歯学委員会** (第 8 回)(9 月 2 9 日)
「歯学分野の展望」に関する現状報告とこれからの具体的方策について
今後の分科会活動の促進に向けて 年次報告について その他
- (8) **基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同海洋生物学分科会**
(第 4 回)(9 月 3 0 日)
学術の大型施設計画・大規模研究計画について その他

- (9) 心理学・教育学委員会臨床医学委員会健康・生活科学委員会環境学委員会土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会成育空間に関する政策提案検討小委員会(第10回)(10月1日)
省庁ヒアリングの実施について
提言の方向性について その他
- (10) 心理学・教育学委員会臨床医学委員会健康・生活科学委員会環境学委員会土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会(第11回)(10月1日)
成育方法に関する提言の審議状況について
成育時間に関する提言の方向性について
政策提言小委員会からの報告 その他
- (11) 基礎生物学委員会(第5回)(10月4日)
今後の活動について その他

第三部担当

- (1) 土木工学・建築学委員会景観と文化分科会(第10回)(9月16日)
話題提供(加藤先生、福井先生) 提言で取り上げる内容について その他
- (2) 機械工学委員会生産科学分科会(第6回)(9月17日)
話題提供「ファクトリフィジックスについて」圓川先生
報告書の取りまとめ方について その他
- (3) 機械工学委員会生産科学分科会ものづくり設計科学小委員会(第5回)
(9月17日)
報告書の取りまとめ方について その他
- (4) 機械工学委員会生産科学分科会ものづくり経営科学小委員会(第4回)
(9月17日)
報告書の取りまとめ方について その他
- (5) 土木工学・建築学委員会地球環境の変化に伴う水害・土砂災害への対応分科会
(第8回)(9月21日)
話題提供「低平地佐賀における地球温暖化に備えた水防災策」
(佐賀武雄 河川事務所 村瀬所長)
今後の活動について

- (6) **地球惑星科学委員会 I G U 分科会** (第 7 回)(9 月 2 4 日)
 I G U テルアピブ地域会議 2 0 1 0 について
 「地理オリンピック」について 地理教育分科会について
 I A G 小委員会について I C A 小委員会について
 I G U 京都地域会議について 共同主催国際会議の申請について
 I G U 副会長選挙について その他
- (7) **地球惑星科学委員会 S C O R 分科会** (第 5 回)(9 月 2 7 日)
 大型研究計画への対応 研究活性化のためのシンポジウムからの報告
 S C O R 総会の報告 その他
- (8) **化学委員会分析化学分科会** (第 7 回)(9 月 3 0 日)
 日本学術会議の最近の動き
 来年度開催予定の学術講演会 (5 月 2 0 日開催予定) に関する件
 その他
- (9) **機械工学委員会機械工学企画分科会** (第 7 回)(1 0 月 4 日)
 報告 分科会報告 今後の活動について その他
- (1 0) **電気電子工学委員会** (第 5 回)(1 0 月 4 日)
 来年度の公開シンポジウムについて
 電気電子工学のあり方に関する提言素案の検討と今後の進め方
 各分科会の今後の進め方 その他
- (1 1) **環境学委員会** (第 7 回)(1 0 月 4 日)
 各分科会からの活動報告
 第 2 1 期における各分科会活動報告のまとめ・方向性
 「環境学」(仮) の編集について その他

4 課題別委員会の開催とその議題

- (1) **自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会技術協力・被災地支援分科会** (第 5 回)(9 月 2 9 日)
 技術協力・被災地支援への取組み 目次案と執筆者の決定について
 その他

5 サイエンスカフェの開催

(1)

日 時 9月24日 19:00~20:30

場 所: 文部科学省情報ひろばラウンジ

テーマ: 「21世紀の科学・技術リベラルアーツを議論する」

講 師: 柘植 綾夫 (日本学会会員、芝浦工業大学学長)

ファシリテーター: 室伏 きみ子 (日本学会議会員、お茶の水女子大学理学部教授)

6 総合科学技術会議報告

1. 本会議

なし

2. 専門調査会

なし

3. 総合科学技術会議有識者議員会合

9月16日 出席

9月23日 祝日のため会合なし

9月30日 出席予定

7 慶弔

ご逝去

藤本 強 (ふじもとつよし) 74歳 9月10日 第18、19期会員
第1部 第20、21期連携会員
東大名誉教授

大熊 輝雄 (おおくまてるお) 83歳 9月15日 第17期会員
第7部 国立精神・神経医療研究センター
一名誉総長、東北大名誉教授

内藤 莞爾 (ないとうかんじ) 94歳 9月17日 第10期会員
第1部 九州大学名誉教授

芝 哲夫 (しばてつお) 86歳 9月28日 第13、14期会員
第4部 大阪大学名誉教授

審 議 事 項

		頁
審議事項		
1 委員会関係	提案1 分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定	1
	提案2 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会設置要綱の一部改正	8
	提案3 労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会設置要綱の一部改正	11
	提案4 若手アカデミー委員会若手アカデミー活動検討分科会の地方開催	13
2 提言等	提案5 提言「我が国の医学教育はいかにあるべきか」	14
	提案6 提言「全員加盟の医師専門職能団体の必要性について」	15
3 国際会議関係	提案7 AASA及びFASAS合同会議への会員の派遣	16
4 シンポジウム等	提案8 公開シンポジウム「『韓国併合』100年と歴史教育」	18
	提案9 公開シンポジウム「薬剤師の職能とキャリアパス」	20
	提案10 初等中等教育における理科・数学・技術教育～現状、課題及びその解決に向けて～	22
	提案11 公開シンポジウム「私たちの日々 土に囲まれて」	24
	提案12 公開シンポジウム「新薬学教育における学士力、博士力」	26
	提案13 第60回理論応用力学講演会	28
5 イベント	提案14 第18回かがわけん科学体験フェスティバル	30
6 後援	提案15 国内会議	32

1	
幹事会	107

提 案

分野別委員会運営要綱の一部改正及び委員の決定について

- 1 提案者 (議案(1)について)
社会学委員会委員長、法学委員会委員長、政治学委員会委員長、経済学委員会委員長、経営学委員会委員長、総合工学委員会委員長、機械工学委員会委員長、土木工学・建築学委員会委員長、材料工学委員会委員長
(議案(2)について)
第一部部長、第三部部長
- 2 議 案 (1)分野別委員会運営要綱の一部改正(新規設置2分科会)
(2)分野別委員会分科会の委員の決定(3件)
- 3 提案理由 下記の分野別委員会における分科会等の設置及び設置期間の延長に伴い運営要綱を一部改正するとともに、分科会の委員を決定する必要があるため。

分野別委員会運営要綱(平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定)の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄の掲げる規定をこれに対応する改正後の欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改正後					改正前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
社会学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	社会学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会 合同社会科学統合データベース分科会	政治学委員会に記載	政治学委員会に記載				(新規設置)		
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
法学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	法学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会 合同社会科学統合データベース分科会	政治学委員会に記載	政治学委員会に記載				(新規設置)		
政治学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	政治学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会 合同社会科学統合データベース分科会	1) 社会科学統合データベースの運用 2) 社会に対する社会科学統合データベースの貢献と役割 3) 社会科学統合データベースにおける若手研究者支援	15名以内の会員又は連携会員				(新規設置)		
経済学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	経済学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会 合同社会科学統合データベース分科会	政治学委員会に記載	政治学委員会に記載				(新規設置)		
経営学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	経営学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会 合同社会科学統合データベース分科会	政治学委員会に記載	政治学委員会に記載				(新規設置)		

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会・機械工学委員会・土木工学・建築学委員会・材料工学委員会合同グリーン・イノベーションの材料分科会	材料工学委員会に記載	材料工学委員会に記載	
機械工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会・機械工学委員会・土木工学・建築学委員会・材料工学委員会合同グリーン・イノベーションの材料分科会	材料工学委員会に記載	材料工学委員会に記載	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
土木工学・建築学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会・機械工学委員会・土木工学・建築学委員会・材料工学委員会合同グリーン・イノベーションの材料分科会	材料工学委員会に記載	材料工学委員会に記載	
材料工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会・機械工学委員会・土木工学・建築学委員会・材料工学委員会合同グリーン・イノベーションの材料分科会	再生可能エネルギーへの変換における材料開発課題、エネルギー供給の低炭素化における材料開発課題、エネルギー利用の省エネ化における材料開発課題(産業における省エネルギー 民生分野における省エネルギー)、社会インフラのグリーン化における材料開発課題に関すること	20名以内の会員又は連携会員	

(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
機械工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
土木工学・建築学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
材料工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			

附則

この決定は、決定の日から施行する。

(様式)

社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会
分科会の設置について

分科会等名：社会科学統合データベース分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に印を付ける。)	社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	本分科会は、経済学・経営学・社会学・法学・政治学・教育学など社会科学の各分野で意識調査を企画・実施し、あるいは調査データを収納する統合データベースを構築している研究者が、その果たすべき貢献や役割を明確にすることを目的とする。特に、社会科学統合データベースの運用上の問題の解明を通じて、社会科学統合データベースが解決すべき課題を抽出する。さらに本分科会では、社会科学統合データベースにおける若手研究者支援についても、必要な提言を行うことにしたい。これらの目的の達成のために本分科会を設置することにしたい。
4	審議事項	1) 社会科学統合データベースの運用 2) 社会に対する社会科学統合データベースの貢献と役割 3) 社会科学統合データベースにおける若手研究者支援
5	設置期間	期限設置 年 月 日 ~ 年 月 日 ☐ 常設
6	備考	

(様式)

総合工学委員会・機械工学委員会・土木工学・建築学委員会・材料工学委員会
分科会の設置について

分科会等名：グリーン・イノベーションの材料分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に印を付ける。)	総合工学委員会 機械工学委員会 土木工学・建築学委員会 材料工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	第4期科学基本計画で検討が進められている2大イノベーションのうちの一つであるグリーン・イノベーションを実現するための材料における課題について、イノベーションの主体となる分野の科学技術者と材料工学関連分野の科学技術者の、双方からの視点で協議・検討し、材料開発課題を明確にして、グリーン・イノベーションの確実な実現に資する提言を行う。
4	審議事項	1.再生可能エネルギーへの変換における材料開発課題 2.エネルギー供給の低炭素化における材料開発課題 3.エネルギー利用の省エネ化における材料開発課題 産業における省エネルギー 民生分野における省エネルギー 4.社会インフラのグリーン化における材料開発課題
5	設置期間	時限設置 年 月 日~年 月 日 常設
6	備考	

設置及び委員の決定（2件）

（社会学委員会・法学委員会・政治学委員会・経済学委員会・経営学委員会合同
社会科学統合データベース分科会）

氏名	所属・職名	備考
広渡清吾	専修大学法学部教授	第一部会員
小林良彰	慶應義塾大学法学部教授	第一部会員
野口晃弘	名古屋大学大学院経済学研究科教授	連携会員
樋口美雄	慶應義塾大学商学部長	第一部会員
今田高俊	東京工業大学社会理工学研究科長	第一部会員
池田眞朗	慶應義塾大学大学院法学部教授	第一部会員
耳塚寛明	お茶の水大学副学長	連携会員

（総合工学委員会・機械工学委員会・土木工学・建築学委員会・材料工学委員会
合同グリーン・イノベーションの材料分科会）

氏名	所属・職名	備考
前田 正史	東京大学理事・副学長	第三部会員
馬越 佑吉	（独）物質・材料研究機構特別顧問	第三部会員
柘植 綾夫	芝浦工業大学学長	第三部会員
村上 周三	（独）建築研究所理事長	第三部会員
関村 直人	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
庄子 哲雄	東北大学大学院工学研究科教授	連携会員
小林 敏雄	（財）日本自動車研究所副理事長	連携会員
岡田 益男	東北大学副学長	連携会員
牧島 亮男	北陸先端科学技術大学院大学 特別学長顧問・特任教授	連携会員
中村 崇	東北大学多元物質科学研究所	連携会員
松宮 徹	新日本製鐵株式会社顧問	連携会員
東 健司	大阪府立大学大学院工学研究科教授	連携会員
長井 寿	物質・材料研究機構環境・エネルギー材料領域コーディネーター	連携会員

豊田政男	独立行政法人 科学技術振興機構 JST イノベーションプラザ大阪館長	連携会員
山本雅彦	大阪大学名誉教授・招聘教授	連携会員

委員の決定（追加1件）

（ 第一部大型計画検討推進分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
前田 富士男	中部大学教授	第一部会員

2	
幹事会	107

提 案

大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会設置要綱の一部改正について

- 1 提案者 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会委員長
- 2 議 案 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会設置要綱の一部改正
(学位に付記する専攻分野の名称の在り方検討分科会の設置)
- 3 提案理由 大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会における分科会の
設置に伴い、設置要綱を一部改正する必要があるため。

(案)

大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会設置要綱（平成20年6月26日日本学術会議第58回幹事会決定）の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改正後				改正前			
(略) 第4 (略)				(略) 第4 (略)			
(分科会) 第5 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。				(分科会) 第5 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。			
分科会	調査審議事項	構成	設置期限	分科会	調査審議事項	構成	設置期限
<u>学位に付記する専攻分野の名称の在り方検討分科会</u>	<u>学位に付記する専攻分野の名称の在り方に関する事</u>	<u>20名以内の会員又は連携会員</u>	<u>平成23年3月31日</u>	<u>質保証枠組み検討分科会</u>	<u>大学教育の具体的な質保証の枠組みに関する事</u>	<u>20名以内の会員又は連携会員</u>	<u>平成22年4月30日</u>
				<u>教養教育・共通教育検討分科会</u>	<u>教養教育・共通教育に関する事</u>	<u>20名以内の会員又は連携会員</u>	<u>平成22年4月30日</u>
				<u>大学と職業との接続検討分科会</u>	<u>大学と職業との接続に関する事</u>	<u>20名以内の会員又は連携会員</u>	<u>平成22年3月31日</u>
(略) 第6 (略)				(略) 第6 (略)			

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会分科会の設置について

分科会等名： 学位に付記する専攻分野の名称の在り方検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に 印を付ける。)	大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>平成20年12月24日に取りまとめられた中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」において、学位に付記する専攻分野の名称の在り方について、「一定のルール化を検討するとともに学問の動向や国際的通用性に照らしたチェックがなされるようにする」とされ、そのルール化の検討に当たっては、日本学術会議や学協会等との連携協力を図るとされている。</p> <p>このため、本分科会を設置し、学位に付記する専攻分野の名称の在り方について検討するものである。</p>
4	審議事項	<p>学位に付記する専攻分野の名称の在り方</p> <p>英文表記の在り方 等</p>
5	設置期間	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時限設置</div> <p>平成22年10月4日 ~ 平成23年3月31日</p>
6	備考	

3	
幹事会	107

提 案

労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会設置要綱の 一部改正について

- 1 提案者 労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会委員長

- 2 議 案
労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会の設置要綱の
一部改正（設置期間の延長）

- 3 提案理由
最も関係が深い日本産業衛生学会が平成23年5月20日に開催予定であり、この機会を利用して、この委員会が発出した提言について報告をし、学協会関係者とのコミュニケーションを図るため、労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会の設置期間を平成23年5月31日まで延長することに伴い、設置要綱を一部改正する必要があるため。

「労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会」設置要綱（平成 21 年 4 月 6 日 日本学術会議第 74 回幹事会決定）の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改正後	改正前
(略) (設置期限) 第4 委員会は、 <u>平成 23 年 5 月 31 日</u> まで置かれるものとする。 (略)	(略) (設置期限) 第4 委員会は、 <u>平成 23 年 3 月 31 日</u> まで置かれるものとする。 (略)

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

4	
幹事会	107

提 案

若手アカデミー委員会若手アカデミー活動検討分科会の地方開催について

1. 提 案 者 若手アカデミー委員会委員長
2. 議 案 標記分科会を下記のとおり地方で開催すること。

記

1. 会 議 名 幹事会附置若手アカデミー委員会若手アカデミー活動検討分科会
(第21期・第3回)
2. 日 時 平成22年10月23日(土)11:00~16:00
平成22年10月24日(日)10:00~16:00
(開催時刻は予定)
3. 場 所 神戸大学瀧川記念学術交流会館内会議室
(兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1)
4. 地方開催とする理由

上記分科会に出席予定の委員10人(定足数7人)のうち6人が、大阪府、京都府又は兵庫県の関西圏及び名古屋に勤務・在住する委員であり、東京で上記分科会を開催する場合と比較して神戸市で開催の方が、旅費の所要経費が少額となるため、今般の上記分科会を神戸市内で開催することについてお認めいただきたい。

なお、分科会の開催については、東京での開催を基本とする所存ですが、定足数の確保が必要な場合等で、東京での開催よりも大阪地方での開催の方が所要経費が少額であるときに限り、今後も大阪地方での開催を併せてお認め願いたい。

[参考]

「日本学術会議分野別委員会及び分科会等について」(抜粋)(平成20年10月23日幹事会決定)

会議の開催について

委員会等の地方(東京23区外)での開催は、原則として認められておりません。ただし、幹事会の承認を得て開催が認められる場合(注15)もありますので、あらかじめ事務局に御相談ください。

(注15) シンポジウム等の開催、地方開催の方が所要経費が少額の場合等。

5	
幹事会	107

提 案

提言「我が国の医学教育はいかにあるべきか」

- 1 提 案 者 基礎医学委員会委員長、臨床医学委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 提言「我が国の医学教育はいかにあるべきか」を別添のとおり取りまとめたので、関係機関に対する提言として、これを外部に公表したいため。

記

日本学会協議会則第二条第三号の「提言」として取り扱うこと

6	
幹事会	107

提 案

提言「全員加盟の医師専門職能団体の必要性について」

- 1 提 案 者 臨床医学委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 提言「全員加盟の医師専門職能団体の必要性について」を別添のとおり取りまとめたので、関係機関に対する提言として、これを外部に公表したいため。

記

日本学会協議会則第二条第三号の「提言」として取り扱うこと

7	
幹事会	107

提 案

AASA 及び FASAS 合同会議への会員の派遣

- 1 提案者 国際委員会委員長
- 2 議 案 標記について、下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 AASA 及び FASAS 合同会議に出席するため、以下のとおり会
員を派遣することとしたい。
- 4 派遣者 村岡 洋一（第三部会員、国際委員会アジア学術会議分科会委
員長、アジア学術会議事務局長）
- 5 開催期間 平成22年10月18日（月）～22日（金）
- 6 派遣場所 ソウル（韓国）
- 7 派遣趣旨 平成22年10月18日から10月22日の間、ソウル（韓国）にお
いて、AASA（The Association of Academies of Sciences in Asia）
及び FASAS（The Federation of Asian Scientific Academies and
Societies）のシンポジウム等の開催に合わせ、AASA 及び FASAS
の合併の可能性を検討する合同会議に、FASAS 会長より、アジア
学術会議（SCA）代表者への出席依頼があった。
両組織の合併の可能性に関する会議に参加して、合併に関する
情報収集とともに両組織の代表者等と意見交換を行うことは、今
後のアジア学術会議の在り方を考える上で非常に有益であると思
えられることから、会員を派遣することとしたい。

**International Symposium on 'One Green Asia' of
The Association of Academies of Sciences in Asia (AASA)
The Fourth AASA-FASAS
(Federation of Asian Scientific Academies and Societies)
Joint International Conference on 'Science Education in Asia and the Pacific'
and
The Ninth General Assembly Meeting of AASA The Fourth Council Meeting of FASAS**

**Hotel Kyo-yuk Mun-hwa Hoekwan, Seoul, Korea
18 - 22 October, 2010**

The Association of Academies of Sciences in Asia (AASA) was established in 2000 to promote solidarity and cooperation among the scientific and technological academies in Asia and Australasia and play a central role in cooperative efforts for further developing the region through science and technology. AASA currently has a total of 26 member academies representing 26 countries, respectively. The Federation of Asian Scientific Academies and Societies (FASAS) was organized in 1984 to promote the advancement of science and technology in Asia, to promote great awareness of the role of science and technology in nation building among general public, business, policy and decision makers, and to enhance the contribution and impact of academies and societies in national and regional development. FASAS currently has 18 member institutions.

The Ninth AASA General Assembly Meeting and the

Fourth FASAS Council Meeting will be held in Seoul, Korea on 18-22 October, 2010. During the period, two international conferences will be organized jointly by the Korean Academy of Science and Technology (KAST), the AASA, and the FASAS. One is an AASA International Symposium under the theme of 'One Green Asia', and the other is the AASA-FASAS Joint International Conference on Science Education in Asia and the Pacific under the theme of 'Science Education for One Green Asia'.

This year AASA celebrates 10th Anniversary of its foundation in 2000. The 10th Anniversary Ceremony is to be held on October 18, Monday and it will be composed of Opening Forum to present 'Sustainable Development in Asia' project report and Opening Ceremony commemorating AASA's 10th Anniversary. 🌐

● Program at a Glance

Time	Oct. 18 (Mon)	Oct. 19 (Tue)	Oct. 20 (Wed)	Oct. 21 (Thu)	Oct. 22 (Fri)
Events	Anniversary of AASA	AASA Symposium	AASA-FASAS Conference	AASA & FASAS Meetings	
09:30 - 10:00		Opening Session	Opening Session		
10:00 - 11:00		Plenary Session (2 Keynotes)	Plenary Session (2 Keynotes)		
11:00 - 12:00		Lunch	Lunch		
12:00 - 13:20		Session 1a Climate Changes	Session I	AASA General Assembly,	
13:20 - 14:00		Coffee	Coffee		
14:00 - 14:20		Session 1b Green Growth Technologies	Session II	AASA Board Meeting, and	Industry Tour And Field Trip
14:20 - 14:40		Session 2b Environmental Issues			
14:40 - 15:00		Coffee	Coffee		
15:00 - 16:00	Registration	Session 1c CO2 Technologies & Green City	Closing Discussion	FASAS Council Meeting	
16:00 - 16:30	Opening Forum				
16:30 - 16:40					
16:40 - 17:00	Opening Ceremony	Dinner			
17:00 - 17:20	Art Performance				
17:20 - 17:30	Dinner				
17:30 - 18:00					
18:00 - 18:30					
18:30 - 19:00					
19:00 - 21:00					

8	
幹事会	107

提 案

公開シンポジウム「『韓国併合』100年と歴史教育」の開催について

1. 提案者 史学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催 日本学術会議史学委員会
2. 共 催 日本歴史学協会
3. 日 時 平成22年10月23日(土) 13時30分～17時30分
4. 場 所 学習院大学 北2号館10階 大会議室(豊島区目白1-5-1)
5. 委員会の開催: 史学委員会歴史認識・歴史教育に関する分科会を開催予定
6. 開催趣旨
 今年は「韓国併合」100年に当たる。この機会に、改めて、日本などによる植民地支配の問題を歴史教育の場でどのように取り扱うかという問題を考える。
7. 次 第
 - 開会挨拶 桜井万里子(日本学術会議会員・東京大学名誉教授)
 - 趣旨説明 木村 茂光(日本学術会議会員・東京学芸大学教授)
 - 司 会 栗田 伸子(東京学芸大学教授)
 - 講 演
 - 姜 徳相(滋賀県立大学教授)
 「『韓国併合』前後のメディア報道」(仮題)
 - 加納 格 (法政大学教授)
 「20世紀初頭ロシアの東アジア政策」(仮題)
 - 関原 正裕(埼玉県立川口高校教諭)
 「高校日本史における日露戦争～『韓国併合』・植民地支配の教育実践」
 - 閉会挨拶 高埜 利彦(日本歴史学協会委員長・日本学術会議連携会員・

学習院大学教授)

8 . 関係部の承認の有無：第一部承認

9	
幹事会	107

提 案

公開シンポジウム「薬剤師の職能とキャリアパス」の開催について

1. 提案者 薬学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催：日本学術会議薬学委員会薬剤師の職能とキャリアパス分科会、日本薬学会
2. 後 援：日本薬剤師会（予定）、日本病院薬剤師会（予定）、日本医療薬学会（予定）、厚生労働省（予定）
3. 日 時：平成 22 年 11 月 2 日（火）13:00-17:00
4. 場 所：日本学術会議講堂
5. 分科会：分科会開催予定
6. 開催趣旨：
薬学教育 6 年制もスタートし、新たに輩出される薬剤師の将来像を検討するため、今後の医療における薬剤師の役割と新たな展開、そしてキャリアパスについて、専門家の皆様にご講演いただき、議論を深め、日本学術会議として期待する薬剤師像を社会に向けて発信する。
7. 次 第：
主催者側挨拶 橋田充（日本学術会議会員、京都大学教授）
趣旨と進行の説明
座長：鈴木洋史（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

講演
国民衛生の向上と薬剤師の役割

平山佳伸（厚生労働省大臣官房審議官）
6年制教育をふまえた薬剤師全体及び開局薬剤師の将来方向について
児玉孝（日本薬剤師会会長）
医療における病院薬剤師の役割と将来展望
堀内龍也（日本病院薬剤師会会長）
大学病院薬剤師への期待
北田光一（千葉大学教授）
新薬学教育（薬剤師）への製薬企業の期待
竹中登一（アステラス製薬（株）代表取締役会長）
6年制薬学教育と薬剤師キャリアパス
樋口駿（福岡大学教授）

質疑と討論

乾賢一（日本学術会議連携会員、京都薬科大学学長）、望月眞弓（日本学術
会議連携会員、慶応義塾大学教授）

閉会の挨拶 乾賢一（日本学術会議連携会員、京都薬科大学学長）

8. 関係部の承認の有無：第二部承認

10	
幹事会	107

提 案

初等中等教育における理科・数学・技術教育
～現状、課題及びその解決に向けて～ の開催について

1. 提案者 第三部長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催： 第三部 理科・数学・技術に関する初等中等教育検討分科会
2. 日 時： 平成22年11月18日(木) 13:00～17:00
3. 場 所： 日本学術会議講堂
4. 委員会等の開催：分科会を同日 12:00-13:00 に開催
5. 開催趣旨：
第三部 理科・数学・技術に関する初等中等教育検討分科会においては、現在、特に小中高等学校における理科教育及び技術教育について議論を行っているところである。今回、初等中等教育における理科・技術教育の現状、課題及び解決のための方策や現在行われている取り組みなどについて、理系学会、文科省、教育系大学関係者や現場での教育を支援する新たな取り組みを行っている方々に講演をして頂き、一般市民にも理科・数学・技術教育の現状を知ってもらうことを目的として企画した。
6. 次 第：
コーディネーター 楠岡成雄（第三部 理科・数学・技術に関する初等中等教育検討分科会委員長、東京大学大学院教授）

開会挨拶・趣旨説明 楠岡成雄

講演 1 . 演題未定

理数系学会教育問題連絡会からの講演者(未定)

講演 2 . 演題未定

清原洋一(文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官(理科担当))

講演 3 . 演題未定

橋本孝之(第三部 理科・数学・技術に関する初等中等教育検討分科会委員、大阪教育大学教授)

講演 4 . 演題未定

上野耕史(文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官(技術担当))

講演 5 . 演題未定

中村日出夫((独)宇宙航空研究開発機構 JAXA 宇宙教育センター長、
全国中学校理科研究協議会顧問)

講演 6 . 演題未定

佐藤年緒(「Science Windows」(JST 発行)編集長)

7 . 関係部の承認の有無：第三部承認

1 1	
幹事会	1 0 7

提 案

公開シンポジウム「私たちの日々 土に囲まれて」の開催について

1. 提案者 農学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催：日本学術会議農学委員会土壌科学分科会
2. 日 時：平成22年11月22日(月)13:00～17:00
3. 場 所：日本学術会議6階 6-C(1,2)会議室
4. 分科会の開催：分科会を開催予定

5. 開催趣旨：

地球の皮膚とも言われる土壌は、それぞれの生成環境(母材、気候、地形、時間、生物)を反映し、それぞれの地域に特徴的な様相を呈し、地球の活動を支えている。しかしながら、あまりにも身近な存在故に、空気や水と同様にその恩恵の大きさに気付かない。地球環境が悪化し、食糧が不足し、食の安全安心が揺らぎ、人類の持続的存在すら危惧される昨今、この地球環境や人間活動を支える土壌の存在を、一般市民と改めて考えることが重要である。専門的には、土壌と土にはニュアンスの違いがあるが、一緒に市民の方々に土壌を考えて戴きたいという趣旨から、今回は“私たちの日々 土に囲まれて”というメインテーマのもとに、以下の諸課題についてのシンポジウムを企画した。このシンポジウムを通じて、多くの方に身近な土の存在と役割を理解して戴ければ幸いである。また、これから農学を志す若い研究者や学生に、農学の基礎である土壌の存在とその役割について、理解するための機会を提供したい。

6. 次 第：

主課題「私たちの日々 土に囲まれて」

座長 三枝正彦(日本学術会議連携会員：農学委員会土壌科学分科会委員長)
大杉 立(日本学術会議連携会員：農学委員会土壌科学分科会副委員長)

13：00：開会：

シンポジウムの趣旨について：三枝正彦（日本学術会議連携会員：農学委員会土壌科学分科会委員長）

13：10：食糧（いのち）を支える土：後藤逸男（日本学術会議特任連携会員：農学委員会土壌科学分科会委員：東京農業大学教授）

13：45：暮らしの中の土：宮崎 毅（日本学術会議連携会員：農学委員会土壌科学分科会委員：東京大学教授）

14：20：土と健康；コメや野菜が骨をつくりボケを防ぐ：渡辺和彦（東京農業大学客員教授）：ビデオで講演

14：55：休憩

15：05：土と文化・文明・健康・生業：陽 捷行（日本学術会議連携会員：農学委員会土壌科学分科会委員：北里大学副学長）

15：40：土の微生物に囲まれた日々：木村真人（日本学術会議連携会員：農学委員会土壌科学分科会幹事：名古屋大学教授）

16：15：総合討論：座長 森 敏（日本学術会議連携会員：農学委員会土壌科学分科会委員：東京大学名誉教授）

16：55：閉会挨拶：木村真人（日本学術会議連携会員：農学委員会土壌科学分科会幹事：名古屋大学教授）

17：00：閉会

7．関係部の承認の有無：第二部承認

1 2	
幹事会	1 0 7

提 案

公開シンポジウム「新薬学教育における学士力、博士力」の開催について

1. 提案者 薬学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること

記

1. 主 催：日本学術会薬学委員会薬学教育分科会、日本薬学会
2. 後 援：なし
3. 日 時：平成 22 年 11 月 22 日（月）13:00～17:00
4. 場 所：日本学術会議講堂
5. 分科会：分科会開催予定
6. 開催趣旨：

日本学術会議薬学委員会では「6年制教育の充実」と「日本の創薬力向上」の二点を主な活動指針としております。薬学教育は、平成 18 年度から、高度な医療を担うことのできる薬剤師の育成を目指した 6 年制学科と創薬研究などの幅広い領域で活躍する研究者の育成を目指した 4 年制学科の並立による新しい制度が開始され、教育改革及び教育環境の整備が推進されてきました。さらに、平成 21 年度には新制度における 4 年生学科が完成年度を迎え、平成 23 年度には 6 年制学科が完成しようとしています。このような状況の中で、薬学教育分科会では、社会の要請に対応できる、6 年制および 4 年制薬学教育の体系について検討するとともに、創薬研究者・技術者、薬剤師、臨床（育薬）研究者、環境衛生分野や行政で活躍する人材などを含む、魅力ある医療人を育てるための諸方策を推進することを目的として、活動を行ってきました。

今回のシンポジウムは、我が国の薬学における創薬力および育薬力を高めるため、4 年制および 6 年制薬学教育が現在直面している諸問題について検討し、薬学教育のあり方について、広く意見交換を行うことを目的に企画しました。

7. 次 第 (予 定) :

13:00 ~ 13:15 開会あいさつ

松木則夫 (日本学術会議連携会員、東京大学大学院薬学系研究科教授、日本薬学会会頭)

橋田 充 (日本学術会議第二部会員・薬学委員会委員長、京都大学大学院薬学研究科教授)

シンポジウム

13:15 ~ 13:30 イントロダクション

赤池昭紀 (日本学術会議連携会員、京都大学薬学研究科教授)

13:30 ~ 14:00 大学改革の進展と課題

榎本 剛 (文部科学省高等教育局企画官・高等教育政策室長)

14:00 ~ 14:30 薬学教育評価と学士力

井上圭三 (帝京大学薬学部教授、薬学教育評価機構理事長)

14:30 ~ 15:00 薬学の学士力、博士力に望まれる新しい研究・教育領域：いわゆるレギュラトリーサイエンスと新薬開発領域への新たな展開

黒川達夫 (千葉大学薬学研究院教授)

15:00 ~ 15:15 休憩

15:15 ~ 15:45 6年制学科に続く大学院 (博士課程) の構築

橋田 充 (日本学術会議第二部会員・薬学委員会委員長、京都大学薬学研究科教授)

15:45 ~ 16:15 4年制学科に続く大学院 (修士課程、博士後期課程) の構築

長野哲雄 (日本学術会議連携会員、東京大学薬学系研究科教授)

16:15 ~ 16:45 新薬学教育と薬剤師職能

鈴木洋史 (日本学術会議連携会員、東京大学医学部附属病院薬剤部教授)

16:45 ~ 17:00 まとめ

太田 茂 (日本学術会議連携会員、広島大学医歯薬総合研究科・教授)

8. 関係部の承認の有無：第二部承認

13	
幹事会	107

提 案

第 60 回理論応用力学講演会の開催について

1. 提案者 機械工学委員会委員長、土木工学・建築学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催：機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会
2. 共 催（予定）：応用物理学会、化学工学会、地盤工学会、土木学会、日本応用数理学会、日本風工学会、日本機械学会、日本気象学会、日本計算工学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本地震工学会、日本数学会、日本船舶海洋工学会、日本伝熱学会、日本物理学会、日本流体力学会、日本レオロジー学会、農業農村工学会
3. 日 時：平成 23 年 3 月 8 日（火）～ 10 日（木）（3 日間）
4. 場 所：東京工業大学大岡山キャンパス
（東京都目黒区大岡山 2 - 12 - 1）
5. 分科会の開催：機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会
6. 開催趣旨：
「理論応用力学講演会」は力学に関する最も権威ある国際組織 IUTAM の開催する国際会議の国内版として長年開催されてきた。力学分野が細分化する中で、各々の分野の先端的研究成果に関する最新動向を共有するとともに、各分野が共通に抱える問題や将来への展望についても分野を超えて情報交換することが本講演会開催主旨である。
7. 次 第：開催日の最初に、日本学術会議 機械工学委員会・土木工学・建築学委員

会合同 IUTAM 分科会委員長の挨拶を行うとともに、分科会委員等学術会議
会員、連携会員を中心として、力学分野の国際貢献、国内力学連合の今後、
力学教育のあり方などに関するパネル討論を実施する予定である。

(1) 挨拶

3月8日(火) 13:00 ~ 13:15

日本学術会議 機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会委員長
小林敏雄(日本学術会議連携会員)

第60回理論応用力学講演会運営委員会委員長 岸本喜久雄(日本学術会議会員)

(2) 特別講演(学協会からの推薦を受けて3件を選定)

3月8日(火) 13:15 ~ 14:15

3月9日(水) 13:00 ~ 14:00

3月10日(木) 13:00 ~ 14:00

(3) パネルディスカッション

3月8日(火) 14:30 ~ 17:00

「力学応用力学分野の現状と将来に関するフォーラム」(仮題)

下記委員会等メンバーを中心に企画し、課題について討論を行う。

岸本喜久雄(東京工業大学教授, 日本学術会議会員)

藤井孝藏(宇宙航空研究開発機構教授, 日本学術会議連携会員)

橋口公一(九州大学名誉教授, 日本学術会議連携会員)

久保史郎(大阪大学教授, 日本学術会議連携会員)

松尾亜紀子(慶應義塾大学教授, 日本学術会議連携会員)

宮内敏雄(東京工業大学教授, 日本学術会議連携会員)

3月9日(水) 9:30 ~ 12:00 (テーマを一般公募)

(4) 研究発表(一般公募)

3月8日(火) 9:30 ~ 12:00 6室, 研究発表50件

3月9日(水) 14:15 ~ 17:00 6室, 研究発表50件

3月10日(木) 9:30 ~ 12:00 6室, 研究発表50件

14:15 ~ 17:00 6室, 研究発表50件

8 . 関係部の承認の有無 : 第三部承認

9 . 申し込み方法・連絡先

本講演会ホームページ <http://www.jsme.or.jp/nctam/>

問合せ先 実行委員会委員長 岸本喜久雄(東京工業大学)

E-mail : kkishimo@mep.titech.ac.jp

事務局 〒160-0006 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階

日本機械学会総合企画グループ(担当:野口)電話(03)5360-3505

E-mail:noguchi@jsme.or.jp

14	
幹事会	107

提 案

「第18回かがわけん科学体験フェスティバル」の開催について

1. 提 案 者 科学と社会委員会委員長
2. 議 案 標記イベントを下記のとおり開催すること。
3. 提案理由 「第18回かがわけん科学体験フェスティバル」は、参加者が体験を通して科学を身近に感じることのできる催事であり、科学と社会委員会科学力増進分科会の審議内容である、「国民の科学力増進に関すること」に資するため。

記

1. 主 催 科学体験フェスティバル実行委員会、香川大学、
日本学術会議
(財)四国産業・技術振興センター、
(財)日本科学技術振興財団・科学技術館
2. 共 催 香川県、(財)かがわ産業支援財団
3. 後 援 香川県教育委員会、高松市教育委員会、
香川県小学校教育研究会理科部会、
香川県中学校教育研究会理科部会及び技術・家庭科部会、
香川県高等学校教育研究会理化部会、生地部会及び工業部会、
四国経済連合会 ほか
4. 協 賛 四国電力株式会社高松支店、電気事業連合会
5. 日 時 平成22年11月13日(土)～14日(日)10:00～16:00
6. 会 場 香川大学教育学部体育館・武道場・研究交流棟
(高松市幸町1番地1号)
問合せ先：物理学準備室 087-872-1612

7. 次第等

開催趣旨 かがわけん科学体験フェスティバルは、主として香川県内の児童生徒の、科学や技術に対する関心を高めるとともに、様々な自然体験をとおして、人間としての成長をはかることを目的に、平成5年度から、毎年、開催してきた科学体験行事である。この企画は、香川県下の理科教育に関わる先生がたを中心に、県、教育委員会、大学、産業界の支援と協力によって実行し、県の年中行事として、すでに定着している。昨今の理科教育をめぐる諸事情をふまえ、広く各方面のご意見を伺いつつ、更なる発展をめざし、その内容を充実させていきたい。

主な内容(予定)

11月13日(土)

9:50~10:00 開会式

(挨拶: 実行委員長、香川大学学長、長谷川 壽一(科学と社会委員会科学力増進分科会委員)、香川県教育委員会教育長、香川県中学校教育研究会理科部会長)

10:00 開場(16:00まで)

小学校教員 2ブース

中学校教員・中学生 6ブース

高校教員・高校生 7ブース

大学生 6ブース

企業 4ブース

サイエンスボランティア 3ブース

その他 4ブース

13:00~14:00 日本学術会議ミニ講演(研究交流棟)

長谷川 壽一 (科学と社会委員会科学力増進分科会委員)

11月14日(日)

10:00 開場(16:00まで)

小学校教員 2ブース

中学校教員・中学生 6ブース

高校教員・高校生 7ブース

大学生 6ブース

企業 4ブース

サイエンスボランティア 3ブース

その他 4ブース

8. その他 本件イベントを主催することについては、中国・四国地区会議運営協議会において承諾を得ている。

15	
幹事会	107

提 案

国内会議の後援

- 1 提案者 会 長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部等に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

後援する

名 称 等	申 請 者	審議 付託先
第2回国際常民文化研究機構・国際シンポジウム「“モノ” 語り - 民具・物質文化研究からみる人類文化」 主催：国際常民文化研究機構、神奈川大学日本常民文化研 究所 期間：平成22年12月11日～12日 場所：神奈川大学横浜キャンパスセレストホール	国際常民文化研究 機構運営委員会委 員長、神奈川大学日 本常民文化研究所 所長	第一部